

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)		
山口市	徳地岸見(徳行、土井、樋ノ口、麻生、野尻)		
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月	
平成24年12月	平成31年1月	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	25.5 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	19.7 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	5.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	1.2 ha

2 対象地区の課題

- ・高齢化及び後継者不足
- ・水稲では収益が出ない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

各中心経営体は現在の経営面積を維持しながら、周辺の農地で対応可能な場合は集約化をする。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・やまのいもの増産体制を作るため、やまのいも専業農家と米作農家が連携し農地をローテーションしてやまのいもの連作障害を解消する仕組みを検討する。
- ・米の世帯消費量が減っているため、売り方(少量での販売など)を変えていく。
- ・徳地の中でいちごの栽培に適しているエリアなので、チャレンジ農場の研修生が就農する際は地域で受け入れる。

5 中心経営体

8経営体

- ①現状の経営面積合計 10.3ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大11.5ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 1.2ha)